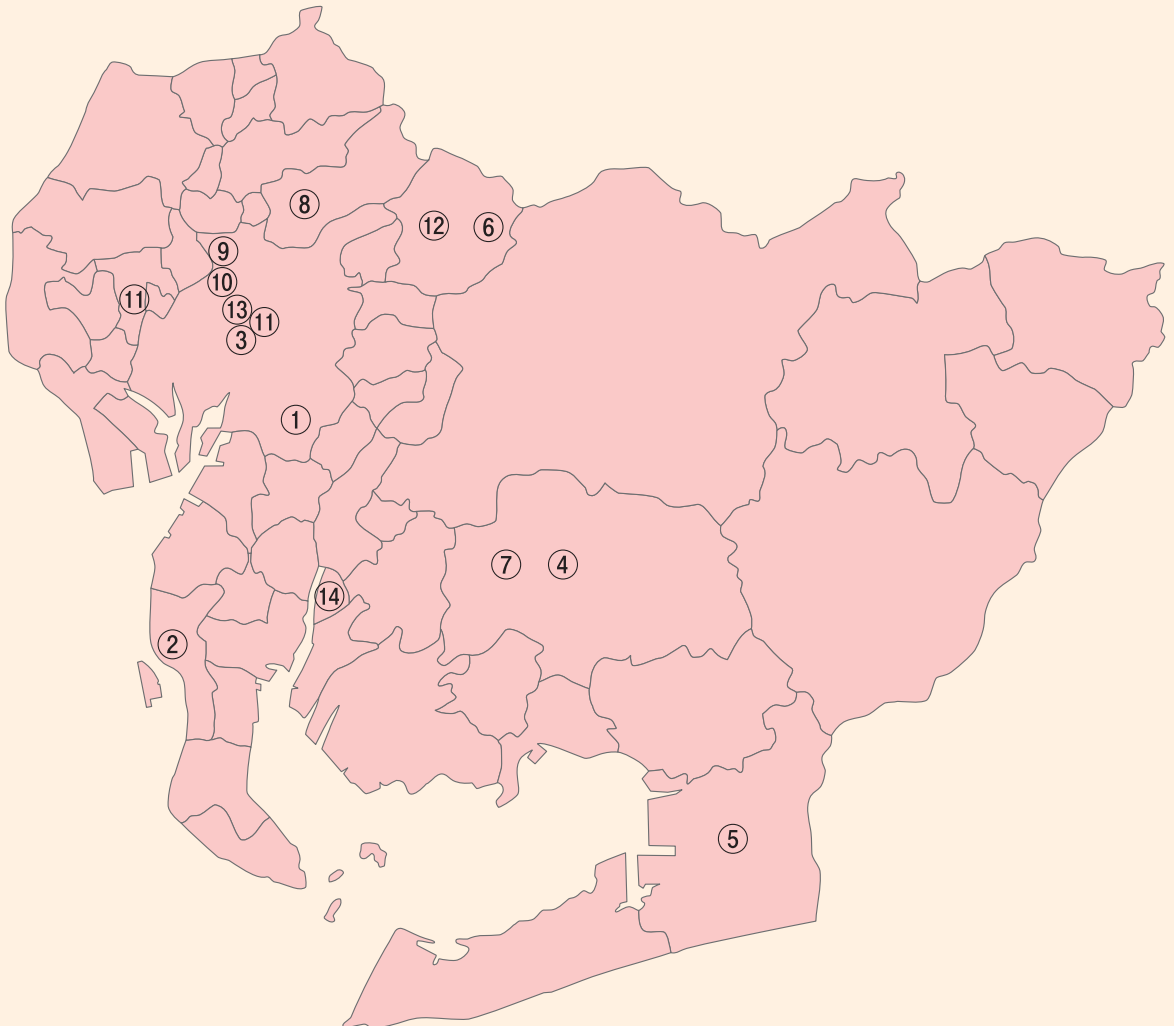


あ
い
ち
の
伝
統
的
工
芸
品

「あいちの伝統的工芸品」

愛知県には、現在、以下の14品目の伝統的工芸品があります。

- | | |
|---------|----------|
| ①有松・鳴海絞 | ⑧名古屋桐箆筒 |
| ②常滑焼 | ⑨名古屋友禅 |
| ③名古屋仏壇 | ⑩名古屋黒紋付染 |
| ④三河仏壇 | ⑪尾張七宝 |
| ⑤豊橋筆 | ⑫瀬戸染付焼 |
| ⑥赤津焼 | ⑬尾張仏具 |
| ⑦岡崎石工品 | ⑭三州鬼瓦工芸品 |



※地図は各工芸品の産地組合等の位置を示しています。

有松・鳴海絞

あり まつ なる み しほり



- 伝統的工芸品指定年月日
昭和50年9月4日
- 主な製品名
呉服類、浴衣他、インテリア類等
- 産地組合等
愛知県絞工業組合
〒458-0924
名古屋市長区有松3405
☎ 052-621-1797
FAX 052-621-1244

産地の歴史

慶長年間（1596～1615年）、名古屋城築城に来ていた人から伝えられた絞の技法を用いて、竹田庄九郎が手拭い（豆しほり）をつくり、「九九利絞」として売り出したのが始まりといわれています。

特徴

「括り」の技法は、蜘蛛絞、嵐絞、雪花絞など約70種類にも及び、手作りならではの味わいを生み出しています。振袖、訪問着などの絹織物から、木綿の浴衣や服地、インテリア等まで、幅広い製品が作られています。

製造方法

図案どおり型紙を彫り、布地に青花液を用いて下絵刷りをします。そしてその布を綿糸で括り、染め上げます。糸で括られた部分には染料が乗らず、糸抜きをすると様々な模様が浮かび上がります。最後に蒸気をあてて、湯のしをして完成です。それぞれの専門職人の手を経て平均50～60日できあがります。

地域ブランド

「有松鳴海絞」は平成19年2月2日に地域団体商標に登録されています。

常滑焼

とこ なめ やき



- 伝統的工芸品指定年月日
昭和51年6月2日
- 主な製品名
茶器、花器、酒器、置物、植木鉢
- 産地組合等
とこなめ焼協同組合
〒479-0836
常滑市栄町3丁目8番地
☎ 0569-35-4309
FAX 0569-34-8893
URL <http://www.tokonameyaki.or.jp/>

産地の歴史

日本六古窯の一つに数えられ、その起源は平安後期にまでさかのぼります。古来より大瓶・大壺などの日用雑器が有名でした。桃山時代には茶道具、江戸時代には、この地で産出する鉄分の多い陶土の性質を巧みに生かした朱泥焼や白泥焼、火色焼を作り、今日の基礎が築かれました。

特徴

歴史が物語るように、良質な陶土の性質を生かして、多種多様な製品が生産されています。なかでも、粘土に含まれている鉄分を赤く発色させることにより生まれる朱泥は、常滑焼の代表作として有名です。

製造方法

ろくろ成形、押型成形または手ひねり成形により成形した後、加飾、施釉を経て焼成します。無釉製品の場合は、常滑焼独自の素地磨きを行い、焼成後に羽毛でさらに磨きをかけ、艶を出して完成します。

地域ブランド

「常滑焼」は平成19年1月19日に地域団体商標に登録されています。

名古屋仏壇

なごやぶつだん



■伝統的工芸品指定年月日
昭和51年12月15日

■主な製品名
仏壇

■産地組合等
名古屋仏壇商工協同組合
〒460-0016
名古屋市中区橘1丁目6番5号
☎ 052-321-5608
FAX 052-322-6779
URL <http://nagoya-but sudan.net>

産地の歴史

元禄8年(1695年)、高木仁右エ門がこの地に仏壇専門店「ひろや」を創業したのが始まりとされています。東本願寺造営に参加した優れた職人たちが、良材「木曾檜」を用いて仏壇工芸を発展させ、今日の基礎を形成しました。

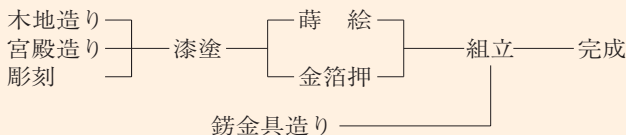
特徴

宮殿御坊造りを代表とする豪華な構造と、台の部分が高く、「みつまくり」を備えていることが特徴とされます。水害から仏壇を守るとともに、台の中に諸仏具を配置、収納するための生活の知恵の結晶です。

製造方法

八職と称する専門職(木地師、^{きじ} 荘厳師、^{しやうこん} 彫刻師、^{かざりかな} 銚金具師、^{かざりかな} 塗師、^{ぬり} 蒔絵師、^{まきえ} 箔置師、^{はくおき} 仕組師)による合作です。

図で示すと次のとおりとなります。

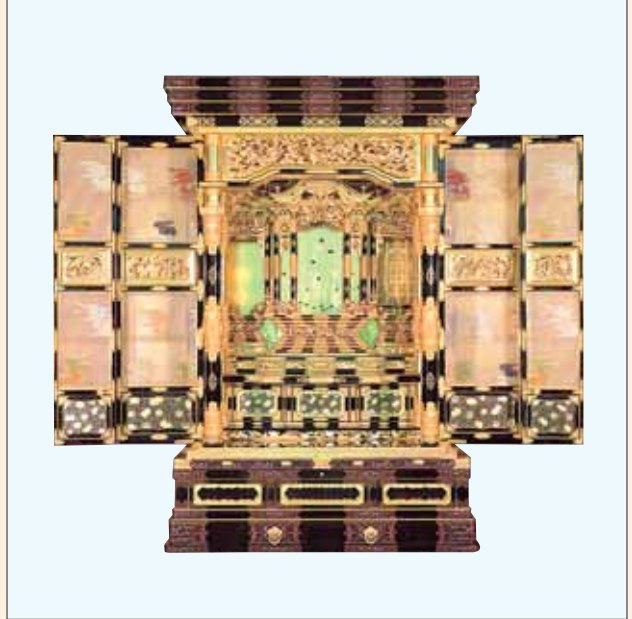


地域ブランド

「名古屋仏壇」は平成19年12月14日に地域団体商標に登録されています。

三河仏壇

みかわぶつだん



■伝統的工芸品指定年月日
昭和51年12月15日

■主な製品名
仏壇

■産地組合等
三河仏壇振興協同組合
〒444-0025
岡崎市曙町2-1
☎ 0564-24-7766
FAX 0564-24-7766
URL <http://www.mikawabutudan.com/>

産地の歴史

文献によると元禄17年(1704年)、^{やほしがわ} 矢作川から運ばれる^{ひのき} 松、^{うるし} 杉、^{しょうはちけ} 檜などの良材と、三河北部の漆を材料として、^{うら} 仏壇師 庄八家が製造したのが始まりといわれています。

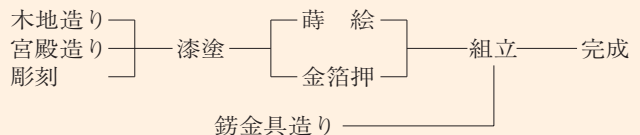
特徴

三河地方では仏壇を押入れに安置する習慣だったため、押入れに合わせた高さ、奥行、幅と、その条件の下でいかに豪華に見せ、かつ拝みやすくするかに工夫が凝らされてきました。そのため台は低く、なげしは「うねり長押」となっています。

製造方法

八職と称する専門職(木地師、^{きじ} 宮殿師、^{くうでん} 彫刻師、^{かざりかな} 銚金具師、^{かざりかな} 塗師、^{ぬり} 蒔絵師、^{まきえ} 箔押師、^{はくおし} 組立師)による合作です。

図で示すと次のとおりとなります。

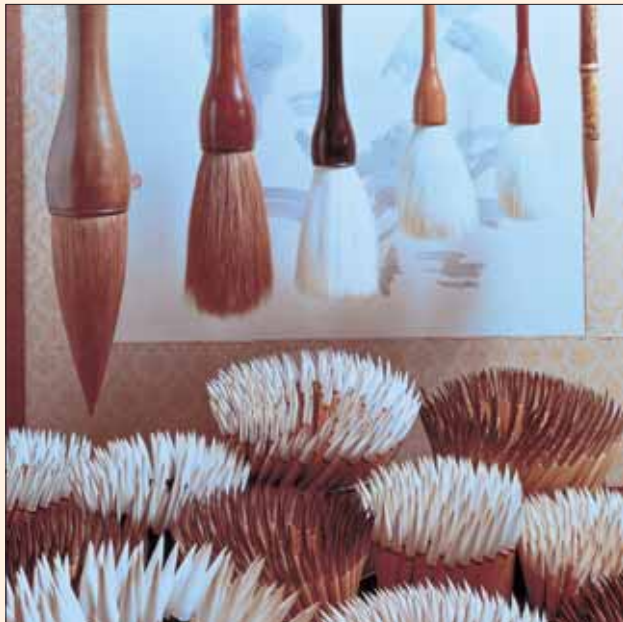


地域ブランド

「三河仏壇」は平成20年6月27日に地域団体商標に登録されています。

豊橋筆

とよ はし ふで



■伝統的工艺品指定年月日
昭和51年12月15日

■主な製品名
筆

■産地組合等
豊橋筆振興協同組合
〒440-0838
豊橋市三ノ輪町5丁目13番地
☎ 0532-61-8255
FAX 0532-61-8255

産地の歴史

文化元年(1804年)、京都の鈴木甚左衛門が、吉田藩(豊橋)から招かれ製造したのが始まりといわれています。下級武士の副業として取り入れられたことと、穂首の原材料となる狸、いたちなどの獣毛が容易に入手できたことなどから、産地として発展しました。

特徴

原材料の混毛に、水を用いて交ぜあわせる「練りませ」の工程を用いることに、豊橋筆最大の特徴があります。この工程により生み出される、“墨含みが良く、墨はげが遅く”使いやすい筆は、高級品として有名です。

製造方法

約36の筆作りの工程は、全部手作りで行われています。工程を大別すると、選別→毛もみ→寸切り→練りませ→上毛かけ→仕上げ→刻銘となります。

一人の職人が一日に作る筆の数は細筆で50本、太筆で30本といわれています。

地域ブランド

「豊橋筆」は平成19年5月11日に地域団体商標に登録されています。

赤津焼

あか づ やき



■伝統的工艺品指定年月日
昭和52年3月30日

■主な製品名
茶器、花器、飲食器

■産地組合等
赤津焼工業協同組合
〒489-0022
瀬戸市赤津町94番地の4
☎ 0561-21-6508
FAX 0561-21-6508
URL <http://www.akazuyaki.jp/>

産地の歴史

日本六古窯の一つであり、その起源は奈良時代の須恵器にまでさかのぼります。鎌倉時代に釉薬を用いたのはこの地方のみであったといわれています。その後の安土・桃山時代には、茶道の発展の影響を受け、志野、織部など現在の赤津焼の根幹をなす技法が確立しました。

特徴

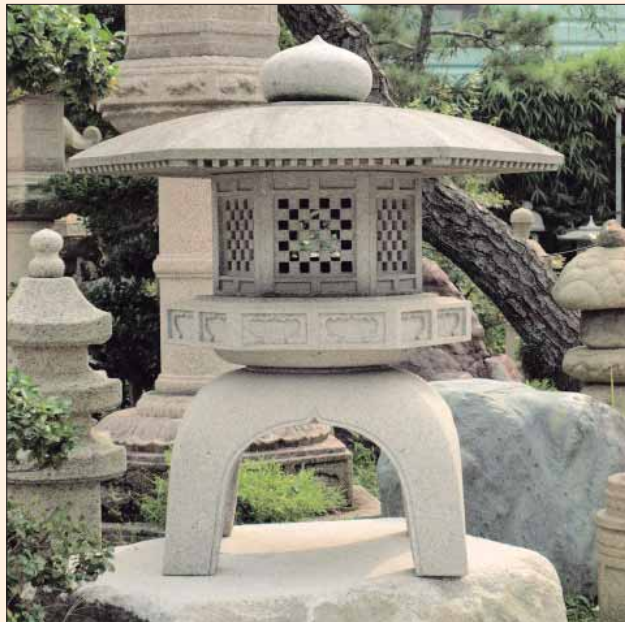
赤津焼の特徴は、織部釉、志野釉、黄瀬戸釉、古瀬戸釉、灰釉、御深井釉、鉄釉の7種類の釉薬と、へら彫り、印花、櫛目、三島手などの12種類の多彩な装飾技法にあります。これらを駆使し、茶道具、華道具から家庭用品まで幅広く焼かれています。

製造方法

ろくろ成形、たたら成形または手ひねり成形により成形し、仕上げ、乾燥の後、絵付や施釉を行い、焼成します。織部は焼成後、ドンダリの傘から出るシブを使い、表面の膜を除去します。

岡崎石工品

おか ざき せつ こう ひん



■ 伝統的工芸品指定年月日
昭和54年8月3日

■ 主な製品名
燈籠、多重塔、鉢物、石塔、彫刻、鳥居など

■ 産地組合等
岡崎石製品協同組合連合会
〒444-0936
岡崎市上佐々木町字梅ノ木48番地
☎ 0564-31-3823
FAX 0564-31-1685
URL <http://www.aiweb.or.jp/ishirengo/>

産地の歴史

天正18年(1590年)、岡崎城主田中吉政が、城下町の整備のために河内・和泉の石工を招いたのが始まりといわれています。近くの山から良質の花崗岩がとれたこと、矢作川を利用して重い石燈籠を江戸・大阪まで運ぶことができた、などの好条件によって繁栄しました。

特徴

神社仏閣の燈明用として生まれた石燈籠が庶民の暮らしの中に取り入れられ、夜道を照らす常夜燈や庭園装飾用へと用途を広げていきました。現在、「立燈籠型」「雪見型」「鉢物」「石塔」「彫刻」「鳥居」などが盛んに作られています。

製造方法

代表的製品である雪見燈籠は、岡崎花崗岩などを原材料として、さしがね等を用いて墨出しをし、コヤスケ、ノミ、タタキ、ビシャン、小ペラ等の道具を使って仕上げ、下から足、受、火袋、笠、玉と乗せ上げて据え付けます。

名古屋桐箆笥

な ご や きり たん す



■ 伝統的工芸品指定年月日
昭和56年6月22日

■ 主な製品名
総桐箆笥・総桐チェスト

■ 産地組合等
名古屋桐箆笥工業協同組合
〒486-0903
春日井市前並町前並8-4
「名古屋桐たんす工房 出雲屋」内
☎ 0568-34-0081

産地の歴史

約420年前、名古屋城の築城に携わった職人たちが城下町に定着し、箆笥や長持を製造したのが始まりといわれています。材料となる飛騨桐(岐阜県)の産地に近く、良材が容易に入手できたことも、その発展を大きく促しました。

特徴

大切な衣類の保管に最も適した名古屋桐箆笥は、伝統的な技法による手造りによって製作されています。

近年では着物だけでなく、洋服や革製バッグの収納等に適した、生活様式に合ったデザインチェストや仕上げ方法を採用し、後世に残る製品造りに努めています。

製造方法

製造工程は数年間、アク抜き乾燥させた桐材を用いて、大まかに、造材、木取り、狂い直し、加工、加飾、金具付け等に分けられ、130余の工程を一人の職人で作ります。桐無垢板を使用し、各部材の接合は伝統的な組み接ぎ法を用い、仕上げにかかるかやどの根を束ねたうづくりを用いて磨き、やしあぶし液に砥粉を混ぜた液で着色した後、ロウで磨き、たんす表面を仕上げ、引戸や金具を取付けて一棹の総桐たんすが完成します。

名古屋友禅

なごやゆうぜん



■伝統的工芸品指定年月日
昭和58年4月27日

■主な製品名
訪問着、留袖、着尺地他

■産地組合等
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会
〒451-0074
名古屋市西区万代町1-28
☎ 052-531-9875
FAX 052-531-9875

産地の歴史

とくがわむねはる

尾張藩主徳川宗春の頃(1730～1739年)に、京都、江戸などから友禅師が往来し、その技法が伝えられたことに始まります。しかし宗春失脚後、質素儉約が励行されるようになり、模様の色数も色数を控えたものへと移行しました。

特徴

当地方の土地柄を反映して、単彩濃淡調の色使いのなかに幽玄さを秘めた“渋”さを特徴としています。

製造方法

手描友禅：白生地を仮絵羽縫し、青花液で下絵を描き、色挿しをします。挿した色を定着させるために蒸した後、模様部分に伏糊をして地色を引染し、再び蒸して水洗し、最後に箔置きなど彩色仕上をします。

型友禅：白生地を友禅板に張り付け、伊勢型紙などを使用して柄付けをします。柄付け後、模様部分に伏糊をし、地染を行い、蒸した後水洗して仕上げます。

名古屋黒紋付染

なごやくろもんつきぞめ



■伝統的工芸品指定年月日
昭和58年4月27日

■主な製品名
着尺地、羽尺地

■産地組合等
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会
〒451-0074
名古屋市西区万代町1-28
☎ 052-531-9875
FAX 052-531-9875

産地の歴史

慶長15年(1610年)、尾張藩士小坂井家が、藩内の旗、幟などの製造にあたったことが始まりといわれています。その後、現在につながる紋型紙板締めほんろうどの技法が生み出されました。

特徴

染色方法には、浸染ひたしぞめと引染ひきぞめの二種類があります。浸染では、紋型紙を使用し、家紋の形を染め抜きます。染液の温度を高めにし、時間をかけて染めるため、堅牢度の高い黒色が得られます。引染では、黒の色艶の優れた「トロ引黒染」または「三ツ引黒染」の技法を用いることに特徴があります。

製造方法

浸染では、生地に紋型紙を貼り、それを生地ちんあてかなみの両面から紋当金網で押さえて締付け、下染めをした後、黒の染料液に入れて染め上げます。引染では、紋の部分に伏糊をして、「トロ引黒染」や「三ツ引黒染」技法で、刷毛を使用して染め上げます。最後に白く残った部分に紋章を手描きで入れて完成します。

尾張七宝

お わり しっ ぼう



■伝統的工芸品指定年月日
平成7年4月5日

■主な製品名
花瓶、額、酒器、皿、宝石箱等

■産地組合等
七宝町七宝焼生産者協同組合
〒497-0002
あま市七宝町遠島十三割2000
☎052-441-9802 FAX052-441-9802
名古屋七宝協同組合
〒460-0008
名古屋市中区栄3-27-17
☎052-251-1371 FAX052-871-7758

産地の歴史

天保年間(1830~1844年)、尾張国の梶常吉が、オランダ船により輸入された七宝の皿を手がかりにその製法を発見し、改良を加えたのが始まりとされています。

特徴

土を成形して焼き上げる陶磁器とは違い、七宝焼は、銅又は銀の金属素地を用い、その表面にガラス質の釉薬を施し、花鳥風月、風景などの図柄をあしらったところに特徴があります。特に図柄の輪郭となる部分に銀線を施す有線七宝は尾張七宝の代表的な技術です。

製造方法

銅(銀)板を用いて花瓶、皿などの形の金属素地を作り、その上に墨で下絵を描きます。有線七宝の場合は、下絵にそってリボン状の銀線を特殊な糊で立てて植え付け(植線)、ガラス質の釉薬を施した(施釉)ものを焼成します。施釉・焼成は3~7回程度繰り返し行います。その後、研磨を行い、飾り付けを施して完成となります。

地域ブランド

「尾張七宝」は平成21年11月13日に地域団体商標に登録されています。

瀬戸染付焼

せ と そめ つけ やき



■伝統的工芸品指定年月日
平成9年5月14日

■主な製品名
茶器、花器、室内装飾品、食卓用品

■産地組合等
瀬戸染付焼工業協同組合
〒489-0805
瀬戸市陶原町1-8
☎0561-82-4152
FAX0561-82-4157

産地の歴史

19世紀初め、加藤民吉等が磁器の焼成技術^{しょうせい}を瀬戸の地で広めたことが起源となっています。その後、絵師から絵付の指導を受け、南宋風の絵画を施す技術などが加わって急速に発展し、今日の瀬戸染付焼の基礎が確立されました。

特徴

白地の素地に絵付を行い、施釉後焼成したものが染付です。藍色を基調とした色彩で繊細な自然画や鳥、花などを筆で描く技術と、潤いを持った仕上がりにするため、本焼成時に「ねらし(一定時間窯の温度を高温のまま維持)」を行い釉薬を熟成させるところに特徴があります。

製造方法

ろくろ成形、手ひねり成形等で成形し、表面をなめらかに仕上げ、乾燥後に素焼をした素地の表面に、直接筆で呉須^{ごす}絵具等を用いて下絵付を行います。その後釉薬を施し、本焼成して完成します。

尾張仏具

お わり ぶつ ぐ



■伝統的工芸品指定年月日
平成29年1月26日

■主な製品名
仏具

■産地組合等
尾張仏具技術保存会
〒460-0018
名古屋市中区門前町6-26
☎ 052-321-6012
FAX 052-331-9748
URL <http://owaributsugu.p-kit.com/page0009.html>

産地の歴史

江戸期の名古屋城下における下級武士の内職が仏具生産の始まりと伝えられています。明治期より、量産性を発展させ、卸商を中核とする間屋制家内工業として発達しました。大正、昭和期に渡り販路を拡大し、全国の仏具産地が尾張地区で生産された仏具を取り寄せて販売しました。

特徴

木製漆塗製品が中心で、各工程において宗旨宗派、寺院用具・在家用具の違いなど製品の細かなところまで専門化され、良質な製品を大量に供給できます。又、木魚・丸金台は現在では日本全国で尾張地区でしか生産されていません。

仏具以外にも神具、祭礼具などの製造も行っています。

製造方法

尾張仏具は製作工程ごとの職人による分業により作られています。

木地製作・彫刻・漆塗・彩色・銹金具製作・金箔置き・蒔絵・沈金などの工程を必要に応じて組み合わせ、専門性の高い伝統的な技術を持った職人の手仕事によって完成されます。

三州鬼瓦工芸品

さんしゅう おにがわら こうげい ひん



■伝統的工芸品指定年月日
平成29年11月30日

■主な製品名
鬼瓦、置物、エクステリア類等

■産地組合等
三州鬼瓦製造組合
〒444-1323
高浜市田戸町4丁目6番地8
「鬼英」内
☎ 0566-54-5781
FAX 0566-54-5782
URL <http://onigawara.info/>

産地の歴史

享保五年(1720年)の徳川吉宗による瓦葺奨励の後、地場産業として本格的に栄え始めました。西三河地方に流れる矢作川が猿投山の粘土を下流域に運び、瓦の原料となる良質な粘土が豊富に採れたことと、海に面し海運で江戸に輸送できたことが発展の要因と考えられています。

特徴

製品に釉薬をかけず、焼成後の高温状態の時に酸素を遮断して強制還元(燻化)を行うことで、「いぶし銀」と呼ばれる独特の発色が現れます。

瓦屋根の中で、魔除け、厄除け、繁栄や富の象徴として飾られてきた鬼瓦が、庶民の暮らしの中に取り入れられ、床の間飾りや玄関飾りへと用途を広げてきました。

また、近年では国宝・重要文化財などの復元も手掛けています。

製造方法

「型紙」を使った総手造り、または「石膏型」により粗成形し「木べら」または「金べら」を用いて手作業によって仕上げます。焼成後に「込み(燻化)」を行い、製品の表面に炭素被膜を形成することで「いぶし銀」を発色させます。

あいちの伝統的工芸品「見学・体験・購入」施設・事業所

※御利用には事前予約が必要です。必ず施設・事業所へ事前に御連絡ください。

※以下に記載のない伝統的工芸品につきましては、各伝統的工芸品の産地組合等へお問い合わせください。

工芸品名	施設・事業所名	住所・電話番号・HP アドレス	
有松・鳴海絞	有松・鳴海絞会館	名古屋市緑区有松 3008 ☎ 052-621-0111 http://www.shibori-kaikan.com/	見学・体験(有料)・購入
有松・鳴海絞	(株)竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区有松 1802 ☎ 052-623-2511 http://www.takeda-kahei.co.jp/	購入
有松・鳴海絞	山盛(株)	名古屋市緑区有松 2613 ☎ 052-621-1178	購入
有松・鳴海絞	(株)山上商店	名古屋市緑区有松 3573 ☎ 052-623-2186 http://www.arimatsu-shibori.com/	購入
有松・鳴海絞	(資)中瀆商店	名古屋市緑区有松 2306 ☎ 052-621-1046 http://www.arimatsunomachi.com/map38.html	購入
有松・鳴海絞	(株)スズサン	名古屋市緑区有松 3026 ☎ 052-693-9624 http://www.suzusan.com/	体験(有料)・購入
有松・鳴海絞	しばりの久田 (愛知絞販売(株))	名古屋市緑区有松 616 ☎ 052-621-1067 http://www.shibori-hisada.com/	購入
有松・鳴海絞	(有)絞染色 久野染工場	名古屋市緑区境松 1 丁目 609 ☎ 052-621-1041 http://shibori-zome.com/	体験(有料)
有松・鳴海絞	(有)早鍵	名古屋市緑区六田 2 丁目 5 ☎ 052-622-7655	購入(期間:6月末~8月中旬)
有松・鳴海絞	(株)張正	名古屋市緑区鳴海町米塚 40 ☎ 052-621-1044 http://www.geocities.jp/sibori_harisyou/	購入
常滑焼	常滑市陶磁器会館	常滑市栄町 3-8 ☎ 0569-35-2033	見学・購入
常滑焼	角山陶苑	常滑市栄町 3-116 ☎ 0569-34-4152 http://www.tac-net.ne.jp/~kakuzan/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	渡辺章製陶所	常滑市栄町 6-203 ☎ 0569-34-3849 http://www.toko.or.jp/syukouzan/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	義翠窯	常滑市栄町 4-39 ☎ 0569-34-2736 http://www.toko.or.jp/gisui/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	TOKONAME STORE	常滑市原松町 6-70-2 ☎ 0569-36-0655 http://www.tokonamestore.com/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	ギャラリー煙	常滑市瀬木町 1-3 ☎ 0569-34-6869 http://www.geocities.jp/galleryentoko/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	晴光	常滑市栄町 3-91 ☎ 0569-34-2094 http://www.tougei-seiko.com/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	光きゅうす	常滑市金山字上砂原 103 ☎ 0569-43-7233 http://www.tac-net.ne.jp/~gyokko/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	陶 兵八	常滑市栄町 2-38 ☎ 0569-35-2932 http://park1.aeonnet.ne.jp/~hyouhachi/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	陶工サロン 一心窯	常滑市栄町 3-88 ☎ 0569-35-6255 http://www.toko.or.jp/issin/	見学・体験(有料)・購入
常滑焼	ギャラリー 敏	常滑市栄町 2-33 ☎ 090-6649-0572 http://www.g-toshi.com/	見学・体験(有料)・購入

工芸品名	施設・事業所名	住所・電話番号・HP アドレス	
名古屋仏壇	名古屋仏壇 商工協同組合	名古屋市中区橋 1-6-5 大野屋ビル 1F ☎ 052-321-5608 http://nagoya-but sudan.net/	見学・体験(製作体験は 有料)・購入
豊橋筆	(株)杉浦製筆所	豊橋市三ノ輪町 5-13 ☎ 0532-61-8155	見学・体験(有料)・購入
豊橋筆	(有)榊原毛筆	豊橋市東田町 37 ☎ 0532-61-7642	見学・体験(有料)・購入
豊橋筆	豊橋筆嵩山工房	豊橋市嵩山町下角庵 1-8 ☎ 0532-88-2504 http://www.toyohashi-fude.com/	見学・体験(有料)・購入
豊橋筆	(有)高誠堂	豊橋市呉服町 44 番地 ☎ 0532-52-5514	購入
豊橋筆	(有)村井文魁堂	豊橋市新本町 128 番地 ☎ 0532-52-3543	購入
赤津焼	赤津焼会館	瀬戸市赤津町 94-4 ☎ 0561-21-6508 http://www.akazuyaki.jp/	見学・体験(有料)・購入
赤津焼	稲山陶苑	瀬戸市赤津町 135 ☎ 0561-82-4844	見学・体験(有料)・購入
赤津焼	晴峰窯(弄月窯)	瀬戸市赤津町 43 ☎ 0561-82-0149	見学・体験(有料)・購入
赤津焼	飽津窯	瀬戸市赤津町 22 ☎ 0561-82-6803	見学・体験(有料)・購入
赤津焼	玉樹窯	瀬戸市窯元町 162 ☎ 0561-82-8091	見学・購入
赤津焼	(資)六兵衛製陶所	瀬戸市赤津町 38 ☎ 0561-82-4585	見学・購入
赤津焼	野田東山	瀬戸市西窯町 87 ☎ 0561-82-8231	見学・購入
岡崎石工品	岡崎石工団地 協同組合	岡崎市上佐々木町字梅ノ木 48 番地 ☎ 0564-31-3823 http://osd.tukai.jp/	見学・体験(有料)・購入
名古屋桐箆筒	名古屋桐たんす工房 出雲屋	春日井市前並町前並 8-4 ☎ 0568-31-8627 http://izumoya.co.jp/	見学・購入
名古屋桐箆筒	伊藤タンス店	名古屋市中区平和 2-7-15 ☎ 052-321-5756 http://www7a.biglobe.ne.jp/~ito-tansu/	見学・購入
名古屋桐箆筒	立松家具	名古屋市中村区白子町 4-59 ☎ 052-481-2845 http://hp.nagoya-cci.or.jp/tatematsu-kagu/	見学・購入
名古屋友禅	友禅工房 堀部	名古屋市西区万代町 1-28 ☎ 052-531-9875 http://www.horibekoubou.com/	見学・体験(染物体験は 有料)・購入
名古屋友禅	彩・工房	一宮市瀬部大塚 48-4 ☎ 0586-78-7227	見学・体験(製作体験は 有料)
名古屋黒紋付染	山勝染工(株)	名古屋市西区城西 2-6-28 ☎ 052-523-1601 http://yamakatu.co.jp/	見学・体験(染物体験は 有料)・購入
名古屋黒紋付染	(株)武田染工	名古屋市天白区池場 4-1309 ☎ 052-801-4090 http://www.takedasenko.jp/	見学・体験(染物体験は 有料)
尾張七宝	あま市七宝焼 アートヴィレッジ	あま市七宝町遠島十三割 2000 ☎ 052-443-7588 http://www.shippoyaki.jp/	見学(実演見学可能)・体 験(有料)
尾張七宝	七寶藏部 安藤七宝店	名古屋市中区栄 3 丁目 27-17 ☎ 052-251-1373 http://www.ando-shippo.co.jp/cloisonne5.html	見学(有料[ただし商品購 入の場合は無料])・購入
瀬戸染付焼	瀬戸染付工芸館	瀬戸市西郷町 98 ☎ 0561-89-6001 http://www.seto-cul.jp/sometsuke/index.html	見学・体験(製作体験は往復 はがきによる抽選・有料)
三州鬼瓦工芸品	鬼百	碧南市千福町 5-68 ☎ 0566-41-1352	見学・体験(有料)・購入
三州鬼瓦工芸品	(株)神仲	高浜市清水町 3 丁目 3-1 ☎ 0566-53-1532 http://www.sansyuu.net/kaminaka/	購入
三州鬼瓦工芸品	萩原製陶所	高浜市青木町 7 丁目 6-32 ☎ 0566-53-0070	見学・体験(有料)・購入
三州鬼瓦工芸品	(株)丸市	高浜市屋敷町 1-2-2 ☎ 0566-53-0471 http://www.sansyuu.net/maruichi/	見学・体験(有料)・購入



伝統マーク
承認番号29-271

この伝統マークを使った
伝統証紙が貼られている
工芸品は、産地組合等が実
施する検査に合格した経
済産業大臣指定伝統的工
芸品です。

●伝統的工芸品とは

知っておきたい 伝統的工芸品の条件

- ①主として日常生活に使われるもの
- ②ほとんど手作業で製造されたもの
- ③伝統的な技術や技法によって製造されたもの
- ④伝統的に使用されてきた原材料を使っているもの
- ⑤一定の地域に生産者が集まっていること

愛知県産業労働部産業振興課
電話 052(954)6341(ダイヤルイン)
FAX 052(954)6976

平成30年2月発行